

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	外国語 I
科目詳細	英語
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

設問 1～3 は、歴史学に関する英文を日本語に翻訳する問題である。構文が正確に理解できているか、それぞれの語彙について適切な日本語訳を用いることができているか、専門用語や固有名詞を理解できているかといった点に基づき評価される。

設問 4 は、自分の研究テーマについて英文で説明する問題である。説明内容のわかりやすさ、文法の正確さ、専門的な語彙が適切に使用できているかといった点に基づき評価される。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	外国語 I
科目詳細	英語
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

設問 1～3 は、歴史学に関する英文を日本語に翻訳する問題である。構文が正確に理解できているか、それぞれの語彙について適切な日本語訳を用いることができているか、専門用語や固有名詞を理解できているかといった点に基づき評価される。

設問 4 は、自分の研究テーマについて英文で説明する問題である。説明内容のわかりやすさ、文法の正確さ、専門的な語彙が適切に使用できているかといった点に基づき評価される。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	外国語Ⅱ
科目詳細	ドイツ語
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

課題のドイツ語を全訳することが求められる。その際、以下の点が評価のポイントとなる。

- ・ 単語に関しては、適切な訳語が選択されているか。
- ・ 文法的に正しく訳されているか。
- ・ 課題文の全体の文脈が理解できているか。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	外国語Ⅱ
科目詳細	ドイツ語
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ <u>評価基準</u> ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

課題のドイツ語を全訳することが求められる。その際、以下の点が評価のポイントとなる。

- ・ 単語に関しては、適切な訳語が選択されているか。
- ・ 文法的に正しく訳されているか。
- ・ 課題文の全体の文脈が理解できているか。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	外国語Ⅱ
科目詳細	フランス語
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ <u>評価基準</u> ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

課題のフランス語を全訳することが求められる。その際、以下の点が評価のポイントとなる。

- ・ 単語に関しては、適切な訳語が選択されているか。
- ・ 文法的に正しく訳されているか。
- ・ 課題文の全体の文脈が理解できているか。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	外国語Ⅱ
科目詳細	中国語
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

課題の中国語を翻訳あるいは読解することが求められる。その際、以下の点が評価のポイントとなる。

- ・ 正しい字体で書けているか。
- ・ 単語については適切な日本語単語が選択されているか。
- ・ 文法的に正しく訳されているか。
- ・ 課題文の全体の文脈が理解できているか。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	外国語Ⅱ
科目詳細	中国語
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

課題の中国語を翻訳あるいは読解することが求められる。その際、以下の点が評価のポイントとなる。

- ・ 正しい字体で書けているか。
- ・ 単語については適切な日本語単語が選択されているか。
- ・ 文法的に正しく訳されているか。
- ・ 課題文の全体の文脈が理解できているか。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	外国語Ⅱ
科目詳細	古文書
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

日本史の古文書（漢文・くずし字）の解読や、内容理解に関する問題です。古代・中世・近世・近代の四つの問題の中から二問を選択し、解答してもらいます。一時代に偏らない古文書の解読能力を問います。

I

古代史の基本史料（漢文）の読解能力を見る問題です。六国史のなかからある人物の伝記記事を出題しました。問1で漢文史料について異体字・校異も含めた読解能力を見ます。問2で、その史料を収録している典籍名およびその典籍に関する知識を見ます。ここでは、内容それ自体に加え、古代史のなかでその記事・典籍の有する意義が論じられることが望ましい。

II

中世史の基本史料（くずし字）の読解能力を見る問題です。「東寺百合文書」から出題しました。いわゆる「禁制」と呼ばれる史料について読解させ、その内容を問1から問3で聞きました。研究を遂行していくうえで必要な知識と大学卒業レベルの読解能力があることが望ましい。

III

江戸時代の古文書（くずし字）の読解能力を見る問題です。「おかげまいり」に関する史料を出題しました。問1でくずし字の読解能力を見ます。問2で、史料の内容がどれくらい理解できているかを見ます。ここでは、この史料からわかる「おかげまいり」の様子とともに、その一般的理解が論じられることが望ましい。

IV

日本近代の古文書（くずし字）の読解能力を確認する問題です。明治期の井上馨書翰を出題しました。近代に於ける書翰に特有の文体で書かれたくずし字の読解能力を見ます。近代史研究に必要な史料解読の素養を備えていることを確認します。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	外国語Ⅱ
科目詳細	古文書
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

日本史の古文書（漢文・くずし字）の解読や、内容理解に関する問題です。古代・中世・近世・近代の四つの問題の中から二問を選択し、解答してもらいます。一時代に偏らない古文書の解読能力を問います。

I

古代史の基本史料（漢文）の読解能力を見る問題です。六国史のなかからある一日の条文をその前後も含めて出題しました。問1で漢文史料について異体字・校異も含めた読解能力を見ます。問2で、その史料を収録している典籍名およびその典籍に関する知識を見ます。ここでは、内容それ自体に加え、古代史のなかでその記事・典籍の有する意義が論じられることが望ましい。

II

中世史の基本史料（くずし字）の読解能力を見る問題です。「駿河伊達文書」から出題しました。いわゆる「遵行状」と呼ばれる史料について読解させ、その内容を問1から問3で聞きました。研究を遂行していくうえで必要な知識と大学卒業レベルの読解能力があることが望ましい。

III

江戸時代の古文書（くずし字）の読解能力を見る問題です。「助郷」に関する史料を出題しました。問1でくずし字の読解能力を見ます。問2で、史料の内容がどれくらい理解できているかを見ます。ここでは、史料の内容とともに、「助郷」の一般的理解が論じられることが望ましい。

IV

日本近代の古文書（くずし字）の読解能力を確認する問題です。明治期の伊藤博文書翰を出題しました。近代に於ける書翰に特有の文体で書かれたくずし字の読解能力を見ます。近代史研究に必要な史料解読の素養を備えていることを確認します。